

洗車 いきなり洗剤はダメ

マイカーもピカピカにして新年を迎えたい。その洗車にもコツがあるそうだ。

「いきなり洗剤をつけてゴシゴシはダメ」。日本洗車協会（福岡市）のメンバーで車のクリーニングを手がける「イズミクリーン」（福岡県志免町）社長の皆



洗車は足元の汚れ落としから

越和也さん（37）のアドバイスだ。

まず用意するもの。水、洗車用の液体洗剤、スポンジ2個、ふき取り用の布。

次に、バケツで洗剤と水を混ぜて泡立てる。最初に、タイヤ、ホイール、バンパーなど下回りの汚れ落とし。「泥や砂などが付いて、車体で最も汚れている部分」だ。シャワーで水をかけながらスポンジで洗う。車全体のほこりやゴミも水で流す。先に洗剤をつけ

て洗うと、付着したゴミで車体をきずつけてしまう恐れがあるからだ。

それから、もう一つのスポンジをバケツに浸し、車体の上を滑らせ、泡で包むような感じにして水で流す。洗剤が乾くと、しみができやすいので部分ごとにやるのがポイント。天井から始め、ボンネットなどの各部分を順次進んでいく。

仕上げのふき取りでは、「水分が蒸発するとしみになるので、布で全体の水滴を取り除いてから丁寧にふくのが良い」そうだ。

（高梨忍）